

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏名	K.O	学部・学科	国際教養学部・国際教養学科
学年	2	派遣国	台湾
派遣大学	東海大学		
期間	2022年 9月 25日～ 2023年 1月 31日		

【生活編】

1. 滞在先

滞在形態	学内の学生寮 / 学外の学生寮 / アパート / その他 ( )					
部屋	個室 / 2人部屋 / 3人部屋 / その他 ( 4人部屋 )					
設備	*共同=◎ 部屋にあるもの=○					
	トイレ	◎	シャワー	◎	洗面所	
	キッチン	◎要予約	冷暖房	○有料	冷蔵庫	
滞在費	約 (10万) 円 *1ヶ月あたりの寮費や家賃					
移動	( 徒歩 ) で、約 ( 5 ) 分 *大学までの所要時間と移動方法					

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先2の内容を追加してください。

2. 日常生活

(1) 1ヶ月の生活費

項目	金額	内訳
食費	4万円	夜市や学食、時々しゃぶ葉やくら寿司
学用品購入費	2000円	教科書やノート
交通費	1万円	市内のバスは無料、新幹線やタクシー
交際費	1万5千円	お土産や誕生日プレゼント
その他	3万3千円	遊園地等娯楽や化粧品、日用品など
<b>合計</b>	<b>10万円</b>	*概算で記録してください。

(2) 治安状況・危険地域など

治安はとてもいいです。犯罪や物騒な事件、学内での盗難は見たことも聞いたこともありません。ただ、日本や台北よりもバイクの量が多く、交通状況が良くないです。歩きスマホはもちろん、イヤホンをつけながら歩くことも危ないので注意しましょう。

### 3. 海外旅行損害保険について

保険の名称	学研災付帯海学 / その他 ( )		
加入期間	( 4 ) ヶ月間	保険料	( 49,900 ) 円

現地の国／大学指定の保険に加入した場合は、下記も記入してください。

保険の名称			
加入期間	( ) ヶ月間	保険料	( ) 円

### 4. 滞在都市についての情報

滞在都市／町 ( **台中市西屯区** )

台中は台北につぐ第二の都市と言われているものの、物価は台北にくらべて安く感じます。学生は市内のバス 10 km以内が無料で乗れて、基本的にどこにでも無料でお出かけができます。ただ、交通状況が悪くなく、乗り物酔いをするタイプでなくても苦しむことが多いので酔い止めを持っていくといいと思います。乗り捨てのできるレンタサイクルもいたるところにある上に無料なのでうまく使い分けてください。東海大学の教会は台中の有名な観光地で、大きな夜市も近隣にあります。毎週末出かけていたら留学が終わるころには物足りなくなってしまうましたが、大学から三越などのデパートがある都会までもバスで 20 分程度の距離でかなり便利な都市だと感じます。台湾の真ん中に位置しているため、山を越えた東部以外は基本的にどこでも日帰り旅行をすることが出来ます。新幹線移動も安いですが、高速バスを利用するともっとお得に移動ができる上に座り心地が抜群なのでお勧めです。

## 【学業編】

### 1. 大学情報

大学	東海大学	所在地	台中
最寄空港	台中空港	空港からの距離	40分
空港⇄大学	( バス ) *移動手段		
学生数	約1万5000人	留学生数	不明ですが多いです
学部	文学部 理学部 工学部 管理学部 農学部 社会科学部 芸術学部 法学部 国際学部  *留学先大学の保有する学部をすべて記載してください。		
学部/専攻	特別生 (とくになし)  *留学中に所属した学部/専攻を記載してください。		

2. 週間スケジュール

① ( 9 )月～( 1 )月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	毎日英語	英詩分析	友達と朝食 毎日英語	友達と朝食	聖書
午後	中国語	中国語	中国語	中国語	中国語

② ( )月～( )月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前					
午後					

### 3. 履修内容

科目	Everyday American Conversation		
履修期間	上学期	単位数	3
授業内容／形態	文法や読解問題が詰まった教授オリジナルの教材が準備され、それを進めたりプレゼンやペアワークをする英語の授業です。大学に入ってから、アカデミックな英語にしか触れてこなかったのが新鮮でした。高校や学習塾の授業に似た英語学習の他、ペアワークでは他の学生と交流できて楽しいです。		
成績	A- (3.7)		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Understanding English Poetry		
履修期間	上学期	単位数	2
授業内容／形態	教授が英語の詩について解説する一斉授業形式の講義です。日本語訳を検索しても難解な詩ばかりですが、英語の詩を英語のまま読む機会はこれまでになく新鮮です。日本語には置き換えられないニュアンスの多さに気づかされました。		
成績	A+ (4.3)		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Bible		
履修期間	上学期	単位数	2
授業内容／形態	聖書を読みディスカッションをする講義です。毎週創世記を5章ほど読み、要約をした上で講義に参加します。これまでキリスト教に全く触れてこなかった私にとって、世界観をとらえるのが難しく苦戦しましたが、キリスト教系の大学として有名な東海大学ならではの授業だったので頑張りました。		
成績	C- (1.7)		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		

	担当教員	
--	------	--

科目	中国語（語学学校）		
履修期間	上学期	単位数	15
授業内容／形態	7人の少人数クラスで授業が進められています。慣れない中国語での講義にはじめは戸惑いましたが、気づけば翻訳機を使わなくてもクラスメートと簡単な中国語の会話をできるようになっていました。少人数なこともありとても話やすく、日本の文化を紹介したり、逆に韓国やフランス、英語の文化を教えてもらえたりととても楽しいです。中国語と日本語には同じ単語がたくさんありますが、ニュアンスが違うことが多く面白いです。疑問に思ったこともすぐに先生に質問できる雰囲気です。		
成績	A (91)		
YCU 振替予定	科目	中国語教養実践 B、専門外国語 A、B	
	単位数	1、1、1	
	担当教員	小幡敏行、杜軼文、杜軼文	

科目			
履修期間		単位数	
授業内容／形態			
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目			
履修期間		単位数	
授業内容／形態			
成績			

YCU 振替予定	科目	
	単位数	
	担当教員	

科目			
履修期間		単位数	
授業内容／形態			
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目			
履修期間		単位数	
授業内容／形態			
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

イニシャル	O.K.	学部・学科	国際教養学部
学 年	2	派遣国	台湾
派遣大学	東海大学		
期 間	2022年 9 月 25 日～ 2023年 1 月 23 日		
プログラム	交換留学プログラム		

< 留学先大学での履修内容 >

科目	Understanding English Poetry
講義内容	教授が英語の詩について解説する一斉授業形式の講義です。日本語訳を検索しても難解な詩ばかりですが、英語の詩を英語のまま読む機会はこれまでになく新鮮です。日本語には置き換えられないニュアンスの多さに気づかされました。
科目	Everyday American Conversation
講義内容	文法や読解問題が詰まった教授オリジナルの教材が準備され、それを進めたりプレゼンやペアワークをする英語の授業です。大学に入ってから、アカデミックな英語にしか触れてこなかったのが新鮮でした。高校や学習塾の授業に似た英語学習の他、ペアワークでは他の学生と交流できて楽しいです。
科目	Bible
講義内容	聖書を読みディスカッションをする講義です。毎週創世記を 5 章ほど読み、要約をした上で講義に参加します。これまでキリスト教に全く触れてこなかった私にとって、世界観をとらえるのが難しく苦戦しましたが、キリスト教系の大学として有名な東海大学ならではの授業だったので頑張りました。
科目	中国語（語学学校）
講義内容	7 人の少人数クラスで授業が進められています。慣れない中国語での講義にはじめは戸惑いましたが、気づけば翻訳機を使わなくてもクラスメートと簡単な中国語の会話をできるようになっていました。少人数なこともありとても話しやすく、日本の文化を紹介したり、逆に韓国やフランス、英語の文化を教えてもらえたりととても楽しいです。中国語と日本語には同じ単語がたくさんありますが、ニュアンスが違うことが多く面白いです。疑問に思ったこともすぐに先生に質問できる雰囲気です。
科目	

講義内容	
科目	
講義内容	

<総括>

(1) 全体的な感想 \*留学生生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800字以上)

留学を終えて春休みを東京で過ごし、留学での学びの多さを毎日たくさん感じています。留学以前、志望理由書にたくさんの志望動機を盛り込んだものの、実際どんなことを経験し自分がどう成長するかなんて最初はわからず不安でした。留学の感想として、留学中の体験ではなく帰国してからの気づきをもとに述べていきます。

まず、語学力についてです。台湾に滞在していた期間はたった4か月ということもあり、中国語の上達も英語の上達もあまり期待していませんでした。実際、帰国してから中国語や英語の資格試験の勉強をしても成長は実感できなかったです。ただ、人と外国語を使ってコミュニケーションを取る力が確実にあがりました。帰国してから空港の国際線でアルバイトをしたり、日本に留学中の台湾人と知り合ったり、ゲストハウスや外国人の多い観光地に足を運んだりと外国人に触れる機会を多く作っているのですが、そのような場で、いままでは「外国語」と認識していたものが自然と「英語」「中国語」「韓国語」と頭の中で分類されるようになりました。さらに、会話の内容も頭に入ってくるようになりました。英語に関しては留学期間中にボキャブラリが増えたわけではないのですが、耳に入るようになり不思議な感覚です。外国語に慣れ、聞こうとする癖が染みついたのだと思います。同じように多少文法が間違っても話すことに抵抗がなくなりました。カタコトでも日本語を精一杯話す台湾人に多く出会ったからだだと思います。外国人な手前、自分も流暢に話せないのは当たり前だと割り切れるようになりました。

次に、異文化の実感です。留学以前も、国が違えば言語や文化が異なることは理解していたつもりですが、それを細かい場面で実感するようになり自分個人としての許容範囲や視野が広がりました。例えば、中国語には敬語がなく、学年が違っていても日本の同級生のような距離感で話したり出かけたりします。部活にも〇年生という概念がなく過ごしておりはじめは違和感を覚えていました。ただそれに慣れて帰国した今、ゼミや部活で先輩には敬語を、同期と後輩にはタメ口をと起用に使い分けている自分に逆に驚かされます。敬語を介しているために距離を感じる先輩や後輩との関係も、敬語がなければどうだったかなと考えるようになりましたし、より人間らしく見えるようになりました。

他にはアイディアの輸入です。台湾でほとんどの人が持っている、ドリンクホルダー（ドリンク版エコバックのようなもの）が日本でも売れるのではないかと思い、今いろいろな大人や友人に相談しています。中国語で検索をすればたくさん作り方が出てくるものの、日本語にはまだありません。またその逆で、ゲストハウスで出会ったアメリカ在住の台湾人が100均で自転車用のサイドミラーを購入し大興奮していました。自分にとっては珍しくないものも外国にはなく外国人に喜ばれたりもします。そんなところに目をつけ自分が販売するのも楽しそうだなと感じました。海外には思いがけないアイディアがたくさんあることを学びました。

(2) 今後の展望 \*この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400字以上)

留学を通して今後の目標がたくさんできました。まず、台湾生活で得た語学力の他に自身自身の海外や地元に対する好奇心を深められたらなと思い、近所のゲストハウスでインターンをすることに決め、先日内定をもらいました。他にもオンラインでドリンクホルダーを含むハンドメイド作品を販売したいなと企画中です。時間をお金に換えていたアルバイトはやめて、自分のアイデアや人柄でお金をもらえるような経験を学生のうちにしたいと考えています。

他にも、外国語を手段に幅広いことを見聞きできる経験に感動したことから、英語の教員免許の取得はあきらめずにつづけ、そのうち日本語教師の資格もとりたいと考えています。中学教員、日本語教師といったお仕事に就く可能性も見据えたいです。また、現段階では妄想にすぎないかもしれませんが、ゲストハウスという居場所も好きで、ゲストハウスで幼児に英会話教室を開いたり外国人ゲストに日本語教室を開くのもいいなと考えています。自分の好きなことをたくさん発見した留学になったので、人生を通して深めていけたらなと思っています。

(3) 後輩へのアドバイス \*留学を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400字以上)

留学前は想像できない海外での生活に不安になるかもしれません。また、人によって留学中も自分の成長を実感できる経験は少ないかもしれません。私自身、留学中は毎日楽しい勉強だけをして美味しいものをたくさん食べていろいろな場所へおでかけをしようと、まるで遊んでいるような感覚でした。留学先でまるで受験生のように勉強している友人の話や、日本でゼミ活動を頑張っている同期の話聞いて焦ったこともあります。それでも、帰国してから感じているのはそんな楽しい経験の節々で、語学力だけでなく異文化理解能力、想像力が鍛えられていたことに気づき、自分が楽しく日々を送っていたのも勉強だったのだなと感じます。現在は留学以前と変わらない日本での生活がまた始まっているのですが、そこで身に着いたグローバルな観点や語学力が日々の生活の解像度を上げていることも実感します。他にも留学をしたからこそ人に話せるエピソードや、得られる人脈もたくさんあり、留学前に思っていた以上の収穫を得ました。せっかくの大学生活ですので、みなさんも自分がやりたいということに意識を傾け、いろいろな経験を積もうとするといいと思います。